



高岡市医師会報

Takaoka City Medical Association Bulletin



Contents

理事会第9回	2	地域保健だより	17
委員会報告	3	病診連携室	17
産業保健だより	3	寄稿「ぶらり一人旅」	18
公的病院だより（済生会高岡病院）	4	検査センターだより	20
市民公開シンポジウム	6	訪問看護ステーションだより	21
高岡市医師会各種委員会委員名簿	14	市医のあゆみ	22
高岡市急患医療センターだより	16	予定表・編集後記	24

（理）（事）（会）（報）（告）

第 9 回 （令和元年7月24日）

協 議

- 1) 会員及び会員家族の懇親会の開催について
10月20日（日）に犬山城、多治見方面（モザイクタイルミュージアム）へ行くことを了承。
- 2) 医療従事者研修懇親の会の開催について
9月19日（木）ホテルニューオータニ高岡にて開催、マジシャンのコンプレッサー氏に出演依頼することを了承。
- 3) 富山市医師会との情報交換会の提出議題について
11月21日（木）ANAクラウンプラザホテル富山で開催されることを確認。当会からの議題として「臨床検査センターの取り組み（検査オーダーシステム）について」を提出することを了承。
- 4) インフルエンザにおける登校許可書等の取り扱いについて
9月会報に案内を同梱して会員への周知を図ること、高岡市との情報共有を確実にを行うことを確認。
- 5) 糖尿病性腎症重症化予防事業に係る受診報告について
周知方法に関して、富山県医師会、保険者と調整することを確認。
- 6) 富山県医師会各種委員会委員の推薦について
以下のとおり推薦することを了承。

社会保険委員会	寺崎 禎一
乳幼児・学校保健委員会	市村 昇悦
産業保健・健康スポーツ委員会	杉森 成実
学術・生涯教育委員会	藪下 和久
救急医療委員会	泉 祥子
広報委員会	山岸 孝広
在宅・福祉・介護委員会	吉田耕司郎
男女共同参画委員会	宮崎あゆみ
特定健診・がん検診委員会	酒井 成
学校心臓検診委員会	宮崎あゆみ
- 7) 2019年度中部医師会連合共同利用施設連絡協議会の参加について
希望する役員・職員の参加を認めることを了承。
- 8) 特定健康診査等に係る事務協議について
酒井成理事、宇野立人理事への出席依頼を確認。
- 9) レジオネラ肺炎について
検査に関して、肺炎球菌の検査とともに、臨床検査センターで対応可能か検討するよう依頼することを確認。
- 10) 委員会構成について
提出された案を一部訂正して各種委員会を構成し、委員に委嘱状を送付することを了承。
- 11) 市政に対する要望について
提出された案を一部訂正して提出することを了承。
- 12) 第50回全国学校保健・学校医大会の参加について
眼科分科会に米脇克哉先生が参加することを了承。

報 告

- 1) 委員会報告
 - ・ 7 / 18 救急医療・急患医療センター委員会
- 2) 諸会議報告
 - ・ 7 / 22 介護保険主治医研修会3市打ち合わせ会（次回打合せは8 / 22（木）19：00からとする）
 - ・ 7 / 24 厚生連高岡病院地域医療支援研修委員会

委 員 会 報 告

●がん検診委員会 令和元年7月23日

 担当理事 寺 崎 禎 一
 副担当 民 野 彰 均
 副担当 堀 彰 宏

	胃がん検診		大腸がん 検 診	前立腺がん 検 診		肺がん検診
	X線	内視鏡				
受 診 者	47 名	513 名	1,531名	11名	受 診 者	1,927 名
異 常 な し	34 名	457 名	1,401名	10名	精 検 不 要	1,833 名
要 観 察	4 名	0 名			再 検 査	0 名
要 精 査	9 名	56 名	130 名	1名	要 精 検	94 名
二次精密検査受診者	2 名	3 名	65 名	0名	精密検査受診者	64 名
が ん 症 例	0 名	食道がん1名	3 名	0名	が ん 症 例	1 名

6月のがん症例は、食道がん1名(胃内視鏡)、大腸がん3名、肺がん1名でした。

産業保健だより

担当理事 杉森 成実

高岡地域産業保健センターでは、令和元年9月は下記のとおり活動を行います。

高岡市医師会で行う健康相談は予約制です。働く人への周知方ご協力をお願いいたします。

1 健康相談

実 施 日	時 間	場 所	担当相談医
9月5日 木	13:00 ~ 14:00	アイザック小杉文化ホール	上田 芳彦
9月6日 金	13:00 ~ 14:00	高岡市医師会	宮島 久仁
9月19日 木	13:00 ~ 14:00	高岡市医師会	上田 芳彦

2 個別訪問産業保健指導(職場巡視)

実 施 日	時 間	事業所の事業内容	担当相談医
9月10日 火	13:00 ~	一般貨物運送事業	宮島 久仁
9月11日 水	13:00 ~	食品製造業	坪田 聡
9月12日 木	13:00 ~	仏具花器	林 治朗
9月25日 水	13:00 ~	測量設計コンサルタント業	杉森 成実
9月26日 木	13:00 ~	コンビニエンスストア本部	森 保人

表紙のことば

済生会高岡病院 西方 学

足立美術館

毎年5月の連休に母方の実家の島根県に墓参りがてらに行っています。

ついでに色々な所に行くのを楽しみにしています。

今回は足立美術館に行きました。ここは、足立全康が1970年に開いた美術館で、横山大観のコレクションと美しい日本庭園で有名です。大観は、有名なので私が能書き垂れるわけにはいきません。日本庭園は枯山水庭、苔庭、白砂青松庭、池庭、鶴亀の滝、四季の庭園に分かれています。敷地外の風景も取り入れた素晴らしい景観です。写真は、枯山水庭からわずかに右上に鶴亀の滝が見えます。

一度皆様も足を運んで下さい。

公的病院だより (済生会高岡病院)

－高岡市に住んで－

脳神経外科 西方 学

済生会高岡病院脳神経外科 西方学です。

日頃より大変お世話になりありがとうございます。

当院は4月から精神科（リエゾン）外来が始まったり、新しい臨床研修医が入ったり、訪問看護や訪問リハビリ、なでしこ保育園が開園したりして、新しい人が次々と入ってきて非常に活気があり、私が入った8年前とは大きな変貌を遂げています。

脳神経外科も微力ながら頑張っています。

私も60歳の還暦を迎え、今年の2月について長年住んでいた富山市を離れ、高岡市の住民になりました。

病院に非常に近く歩いても15分位（信号で止まらなければ1分程）で着いてしまいます。

近隣にはイオンを始めサンコー、ドラッグフジイ、ウェルシア、出来田に新しく大阪屋やドラッグフジイなど多くの商業施設があり、独身、自炊生活の私には天国のような場所です。

したがって point card や電子マネー等が充実してしまい、カード入れを3つ使っています。スマホには iD が入っているので便利です。

またレシートを写真に取るだけで家計簿ができますので（銀行口座やクレジットカード情報も自動で取り込んでくれますので）便利です。

また飲食店もたくさんありなかなか全部制覇するには時間がかかりそうです。

更に新高岡駅まで歩いて10分足らず、高岡駅も歩いて20分程で着くので、どこに行くのも便利なところだと感心しています。

古城公園など行ったことがなかったのに何度も

歩いて散歩ができ、時々おとぎの森公園やスポーツコアに走りに行ったり、楽しく自由気ままに生活しています。

最近はスポーツクラブに入会し、時々筋トレやコマネズミのようにマシンで走ったりしています。

趣味のゴルフは、白内障の手術を受け視力が左1.5、右1.2まで見えるようになりいきなり80台が出るようになり喜んでいました。（眼科の中村先生ありがとうございました。）先日も富山県医師グリーン会のコンペで優勝しました。（ただし徐々に体が機械化されていくようで困惑しています。）医師会の重鎮の先生方から早くシングルになるように言われて久しいですが、せめて今年はハンデ12から11になれるように頑張りたいと思っています。

冬はスキーに行きたいので（去年は暖冬でほとんど行けませんでした）頑張ってお体作りをしようと思っています。

遊んでばかりに思われますが、仕事はなかなか忙しく、朝早かったり、居残りがあったり、緊急呼び出しもありますが、なんせ車で1分程で病院に着いてしまいますので、特に苦になりません。

医師会の先生方には多くの患者さんをご紹介いただいたり、また、逆紹介に対して嫌な顔をしない（多分してるかなと申し訳ない気持ちでいっぱいなのですが…）で紹介状をいただきこの場で感謝申し上げます。

まとまらない話ですみません。

今後ともどうかよろしくお願い申し上げます。

摂食嚥下専門外来開設のご案内

済生会高岡病院 寺崎 禎一

済生会高岡病院では令和元年7月に摂食嚥下専門外来を開設しました。

「食事中にむせることが増えた」「飲み込むのがやっと」など飲み込みに関して困っておられる方を対象に、丁寧な診察・心のこもった指導を行い、安心・安全に食事が食べられるよう支援しています。このような支援を必要とする患者さんはもちろん、今後支援が必要になる可能性のある患者さんやこの外来受診を自ら希望する患者さんが居られましたら、ご紹介下さるようお願い申し上げます。

ご予約には大変お手数ですが、摂食嚥下専門外来問診票（ホームページからダウンロード可）と診療情報提供書（紹介状）を当院地域連携室までFAXしていただければ幸いです。

詳細は当院ホームページのお知らせ欄をご覧ください。当専門外来のご利用をお待ちしています。

「食事中にむせることが増えた」「飲み込むのがやっと」など、飲み込みに関して困っていませんか。当院では、摂食嚥下専門外来にて診察・指導を行い、安心・安全に食事が食べられるよう支援しています。



予約について

当外来は予約制となっております。

受診をご希望の方は、かかりつけ医にご相談ください。

診療のながれについて

- ① 医師による診察
- ② 嚥下機能検査
- ③ 言語聴覚士による嚥下評価・摂食機能療法
- ④ 管理栄養士による栄養評価・指導
- ⑤ 摂食嚥下認定看護師による口腔ケア等の助言・指導



料金について

診察費に加え、別途に検査食の料金がかかります。

当日の流れ

- ① 患者さんは、【予約確認票】・【診療情報提供書（紹介状）原本】・【保険証】を総合受付へ提出してください。
- ② 売店にて検査食を購入してください。
※当院1階売店にて、検査を受けられる患者様の氏名をお伝えください。
- ③ 以下の流れで診察・検査等があります。
医師による診察→嚥下機能検査
→言語聴覚士による嚥下評価→摂食機能療法
→管理栄養士による栄養評価・指導
→摂食嚥下認定看護師による口腔ケア等の助言・指導
- ④ 診察等終了後は、総合受付にて会計を済ませてください。

ご来院にあたっての注意点

- 当日は必要書類（予約確認票・紹介状）とハンコを必ず持参してください。
- 当日、検査の説明を行います。検査を受ける場合はご本人・ご家族（付添者）によるサイン・押印をお願いします。同意が確認できない場合は検査を行えない場合があります。
- 摂食の現状確認、調理方法の工夫のアドバイス、食べ方やリハビリ等のアドバイスを行います。必ず状況が分かる方の付き添いをお願いします。
- 当日の昼食は召し上がってきてください。
- 診察→検査→指導までの時間は1～2時間以内です。
- 売店にて検査食の支払いを済ませてください。

摂食嚥下専門外来問診票		申込日: 年 月 日
済生会高岡病院 〒930-8505 高岡市二ツ橋3-1 TEL.0766-50-8870 FAX.0766-21-1516		診療科: _____ 医師: _____ 看護師: _____ 受付: _____
患者氏名: _____ 生年月日: 年 月 日 () 歳 性別: 男・女 病名: _____ 居住: _____		受診日: 年 月 日
☐ 詳細をしない/わからない/不明 ☐ 食事摂取の量/質の改善/変化/変化なし ☐ その他: _____		
Ⅰ 重症 ☐ 嚥下困難又は不能、嚥下訓練適応なし ☐ 基礎的嚥下訓練だけの適応あり ☐ 条件が整えば嚥下訓練は適当、摂食嚥下訓練が可能 Ⅱ 中等症 ☐ 嚥下しきれない/嚥下困難 ☐ 一部(1～2食)嚥下困難 ☐ 3食中2食以上嚥下困難 Ⅲ 軽症 ☐ 嚥下しきれない/嚥下困難 ☐ 3食中1食以上嚥下困難 ☐ 嚥下しきれない/嚥下困難 ☐ 嚥下しきれない/嚥下困難		
☐ 経口摂取 1日: 固(粥・菜・肉・卵・豆・芋・果・ナッツ) ☐ 軟飯 ☐ お粥 ☐ ミキサー粥 ☐ なし 主食 ☐ 米飯(粥・菜・肉・卵・豆・芋・果・ナッツ) ☐ 軟飯 ☐ お粥 ☐ ミキサー粥 ☐ なし 副食 ☐ 菜飯・粥・菜・肉・卵・豆・芋・果・ナッツ ☐ 軟飯 ☐ お粥 ☐ ミキサー粥 ☐ なし 水分 ☐ トロリなし ☐ トロリあり(薄・中・濃・濃い)		
食事摂取状況 摂取量 ☐ 全量摂取 ☐ 7～8割程度 ☐ 半分程度 ☐ 2～3割程度 ☐ ほとんど摂取できない ☐ 摂取 食べ方 ☐ 自力 ☐ 一部介助 ☐ 全介助 ☐ ベッド上(側臥位・背臥位・うつ伏せ) ☐ 座位(車椅子・椅子) ☐ リクライニング ☐ 口腔ケア(嚥下・嚥下・嚥下) ☐ 経口 ☐ 経鼻 ☐ 中心静脈栄養		
使用薬剤: プレリギー等: _____		
ADL: 日常生活動作 ☐ 自立 ☐ 一部介助 ☐ 全介助 ☐ 歩行 ☐ 杖 ☐ 歩行器 ☐ 車椅子 ☐ ストレッチャー ☐ 食事摂取/嚥下訓練 ☐ 可能 ☐ 一部可能 ☐ 不可能		
検査の有無: ☐ なし ☐ 使用中 ☐ 未使用 ☐ 不適合		
検査結果: ☐ 良好 ☐ 不良		
介護認定: ☐ あり ☐ なし 介護度: (要支援) (要介護)		
※当日は現在の食事摂取状況を記載されている方およびご家族の同意をお願いします。 ※現在の摂食嚥下状況を記入下さい。		

市民公開シンポジウム

在宅医療支援担当理事 林 智彦

第5回市民公開シンポジウム「おひとり様の看取りについて考えよう！～自分らしい最期の準備を考えてみませんか？～」が高岡市医師会在宅医療支援センター主催で、7月28日（日）午後1：30～3：00に高岡市ふれあい福祉センターにて開催されました。

今回の内容は、第一部として寸劇「家でひとりで大往生！」、第二部としてレクチャー「自分らしく生きるために」、第三部としてシンポジウム「おひとり様の看取りについて考えよう！」でした。

今回は、一人暮らしの方の看取りがテーマですが、もしもの時に自分の意思を周りの人へ伝えておくためにどうするか、いずれ訪れる死というものをどう迎えるかについて参加者に考えてもらうことが目的でした。昨年に続き「死」と向き合うという重いテーマでしたが、参加者266人と会場が満席となる盛況な会となりました。

最初に藤田医師会長が開会の挨拶を行い、高橋正樹高岡市長（高岡市福祉保健部長 鶴谷俊幸代読）から来賓の挨拶を頂きました。司会は在宅医療支援担当理事の林で始まりました。



第一部 寸劇「家でひとりで大往生！」

主人公は、数年前に夫を看取り一人暮らしとなった78歳のおばあさんです。年末から咳や息切れが続いているため、かかりつけ医を受診しました。検査の結果、胸部レントゲン検査で胸水貯留を指摘され精査目的に高岡総合病院へ入院することになりました。おばあさんは一人暮らしのため自治会長、民生委員に病院へ来てもらい一緒に総合病院の主治医から検査結果の説明を受けることになりました。病院主治医からは末期の肺癌であり、手術は不可能な状態で予後は6か月程度であることが告げられました。おばあさんは考えた結果、化学療法等の治療はせずに、住み慣れた自宅で治療を受けながら過ごすことを選択しました。

おばあさんの意向を受けて退院時カンファレンスが開催されることになりました。カンファレンスの中では病状のこと、在宅で受ける医療や介護サービスについて話し合われました。さらに、ケアマネジャーから一人暮らしであるため遺言書を作成したり、成年後見制度を利用してはどうかという提案を受けました。



退院時カンファレンスから1週間後に退院となりました。退院後、ケアマネジャーが様子を見におばあさんの自宅を訪問しました。ケアマネジャーから高岡市が作成した終活支援ノート「人生いきいきノート」の説明を受け、自分の思いを書き込んでみてはどうかと提案されました。それ以降、おばあさんは毎日少しずつ「人生いきいきノート」を書いていきました。

退院後8か月を迎えようとしていたある日、ケアマネジャーと訪問看護師が自宅へ伺ったところ、おばあさんから相談を持ち掛けられます。余命宣告された6か月を過ぎたので残された人生を楽しみたいと思っているとのことや今までお世話になった近所の人や先生、看護師さん達に感謝の気持ちを伝えたいと考えているようでした。そこで、楽しいことが好きなおばあさんはできれば亡くなる10日ほど前になったらお世話になった皆さんと宴会をしたいと言い出しました。今後状態が悪くなっても、病院へは入院せず救急車も呼ばず、住み慣れた自宅で最期を迎えたいとの意思を改めて示されました。



その後、おばあさんの状態は徐々に悪化し眠っている時間も長くなっていきました。在宅医の訪問診療に合わせて訪問看護師、民生委員、自治会長におばあさんの家に集まってもらいました。診察の結果、状態は悪くなってきており残された時間は10日間ほどとのことでした。おばあさんとの約束通り、早速皆で集まり宴会をすることになりました。大好きなお酒を飲みながら皆で炭坑節の輪踊りをしました。おばあさんにとって思い出に残るとても楽しい宴会となりました。

それから暫くしたある夜のこと、「お〜い!」とどこからかおばあさんを呼ぶ声がします。見ると亡くなったおじいさんが「そろそろこっちへ来ないか〜?」と呼びに来たのでした。

次の日の朝、いつも通り訪問看護師が自宅へ伺ったところ、おばあさんは穏やかな顔で亡くなっ



ていました。すぐに、在宅医主治医へ連絡し、民生委員、自治会長にも連絡し集まってもらいました。皆でおばあさんの旅立ちを見送りました。

最後におばあさんが書き記した「人生いきいきノート」を皆で見ました。ノートの中には、お棺には真っ赤なバラを1本入れて欲しいとのこと、おじいさんのお墓と一緒にに入れて欲しいとのこと、永代供養はして

あること、そして皆への感謝の言葉が綴られておりました。

以上が寸劇のあらすじになります。

第二部 レクチャー「最期まで楽しく自分らしく生きるために」

前田行政書士事務所所長 前田敏先生から、亡くなる前に考えて準備しなければならないことについて分かりやすく説明して頂きました。

少子高齢化が進み人口減少の局面に入っていること、一人暮らしが増加していること、認知症が増加していること等、急速に世の中が変わってきている。そんな中で避けて通れないことが、「相続」に関すること、自身の「終活」、自分の暮らしをいかに「デザイン」するかということである。

まず、「相続」に関しては不動産（負動産）である。これは老後の生活を圧迫する要因になる場合があり、不動産は必要な時に現金化できないため相続の際に家族間でもめる大きな要因になる。最近では一人暮らしが増えているため空き家の問題が注目されている。また、認知症になると意思表示ができなくなるため、「売る」「貸す」「直す」ができなくなる。身内の相続放棄により思わぬ不動産の相続権が発生し、突然自分の身に降りかかってくる場合もある。



「終活」については、認知症等になる前に早めに自分の意思を明らかにしておくことが重要である。さらに、明らかにした意思を形に残しておく必要がある。手段の一つは遺言書であるが、遺言書は亡くなったから効力が発揮するもので生前の問題解決にはならない。生きている間や高齢期に対応できる手段として、生前3点契約書と言われる ①財産管理等の委任

契約書（寝たきりになった時に効力を発揮）、②任意後見契約書（判断能力が低下した時に効力）、③尊厳死宣言がある。いずれも公正証書での作成が望ましい。一度作成しても変更は可能なので、早めに作成して必要時に随時変更していけばよい。その他に準備しておくこととしては、墓に関すること（散骨、樹木葬、永代供養等）、献体、臓器提供に関するドナーカードの記載等がある。

一人暮らしの方は、万が一に備えて、日頃から人付き合いを大切にし、第三者が代わりに入院や葬儀の手続きができるように契約しておくこと、葬儀や墓の用意、家財道具や財産の整理や処分をしておくことが必要である。そして、認知症になる前に葬儀や亡くなった後の始末を頼める相手をあらかじめ選んで契約しておくことで安心できる。

相続、終活の手続きはできるだけ早めに完了させ、最期まで自分らしく楽しく生きるために「暮らしのデザイン」をすることが最も大切なことである、と話されました。

第三部 シンポジウム「おひとり様の看取りについて考えよう！」

シンポジストとして、訪問看護師、ケアマネジャーの各職種の代表者、病院地域連携室のソーシャルワーカー、高岡市高齢介護課担当者、レクチャー講師の前田敏先生が登壇し、高岡市医師会の林の司会で始まりました。

今回は「おひとり様の看取り」というテーマですが、一人暮らしでなくても治る見込みがない病気になったらどうするか、最期をどのように迎えたいか等については健康な時から考えておくことは重要です。自分の意思をどのように周囲の人へ伝えるかについて議論することにしました。

①高岡市の一人暮らしの高齢者の現状と支えるサービスについてはどうですか？

平成27年度の高岡市の65歳以上の単独世帯数は6995世帯、夫婦のみの世帯は8141世帯で年々増加傾向です。高岡市では一人暮らしの高齢者を支えるためのサービスがいくつかあります。

「一人暮らし高齢者の登録と見守りの制度」

対象は市内に在住の概ね65歳以上の在宅の一人暮らし高齢者です。登録された一人暮らし高齢者に対して、近所に住む高齢福祉推進員に安否確認や居宅への訪問等を行っています。

「緊急通報装置の貸与」

対象は、65歳以上の在宅一人暮らし高齢者などです。コールセンターでは看護師等の専門的な知識を持つオペレーターが緊急通報や生活・健康相談に365日、24時間体制で対応しています。希望者には、1日の活動量が少ない場合に自動でコールセンターに通報する人感センサー及び火災警報器もオプション装置として貸与しています。

②一人暮らしの方の意思確認はどのようにしていますか？

すでに認知症を発症し本人の意志や意向を確認できないことも多くありますが、認知症であったとしても、家で過ごしたい、痛いのは嫌だ、誰かそばにいて欲しい等をコミュニケーションや雰囲気から思いを汲み取ることが出来る場合も多くあります。多職種で関わっていると誰かに思いを話されることもありますので、担当者同士の情報の共有が大切です。

一人暮らしの場合でも遠方に兄弟や親族がいる場合もあるので、過去に延命治療やもしもの時にどのようにして欲しいか等話していなかったかと聞き取ることもあります。

やはり元気なうちからもしもの時に備えて高岡市で作成した終活支援ノート「人生いきいきノート」等を活用し、自身の意思を記録として残しておくことが必要です。

③一人暮らしの方の入院や救急搬送時に病院側として何か問題はありますか？



一人暮らしの方の場合にキーパーソンが誰なのかを決めておく必要があります。入院時には保証人が必要で、治療方針や検査等あらゆることに本人以外の同意が必要になるためです。また、突然倒れて救急搬送された場合に蘇生や延命処置を希望するかどうか等、自分の信頼できる周りの方と事前によく話し合っ自分の意思を共有し記録しておくことが大切です。

④一人暮らしでも在宅医療を受けたり、看取りをすることは可能ですか？

必ずできるわけではありませんが、本人が自宅で過ごすことを強く希望されていることや周りの方の理解がある場合には可能です。また、癌等の治る見込みのない病気であっても痛みや呼吸困難等の症状がコントロールできる場合には看取りも可能です。

最期をどう迎えるかを考えることは、今どう生きるかに繋がっています。悔いのない人生を送るために周りの方と十分に話し合い、自分の意思を伝えておくことが大切です。一人暮らしの方でも、実際に周りには相談に乗ってくれる方や手を貸してくれる方が大勢いますので決して孤独ではありません。一人一人の意思決定に寄り添って支えることが、我々在宅医療に関わる医療・介護関係者の役割であるという結論となりました。



最後に成瀬副会長に閉会のご挨拶を頂き、閉会となりました。

第5回市民公開シンポジウムアンケート集計

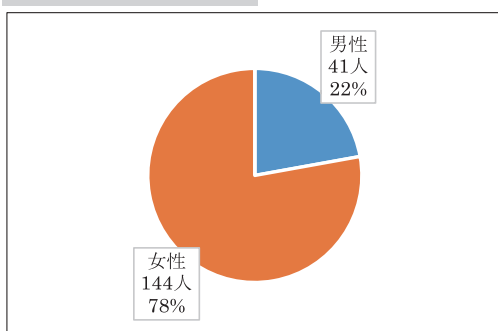
令和元年7月28日(日)

参加者数 266 名

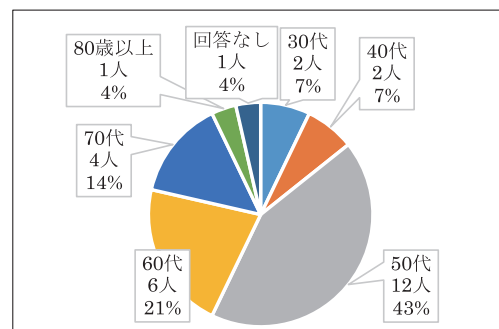
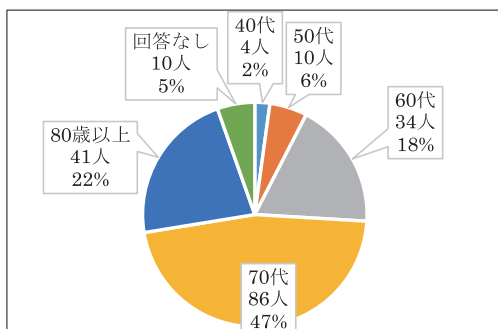
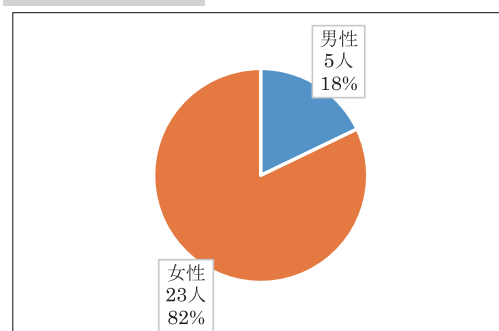
回答者数 214 名 (内 医療介護関係者以外 185 名 医療介護関係者 28 名 回答なし 1 名) 回収率 80.5%

Q あなたの性別と年齢をお教えてください。

医療介護関係者以外

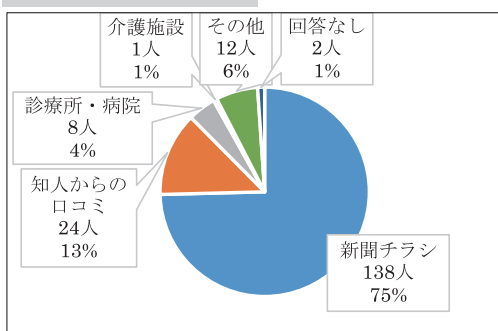


医療介護関係者

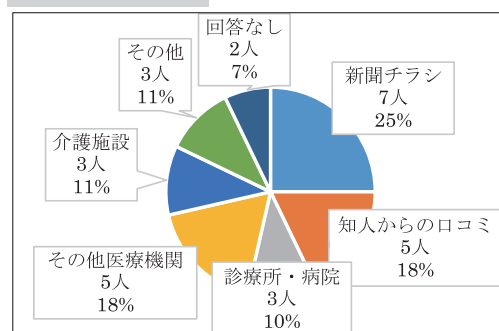


Q 今回のシンポジウム開催をどこで知りましたか。

医療介護関係者以外

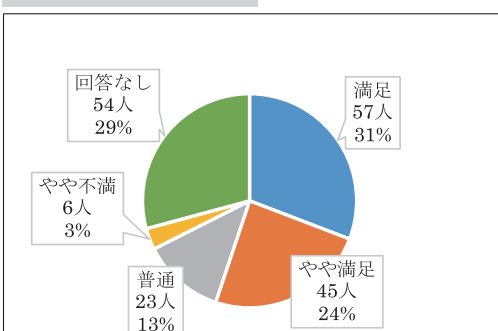


医療介護関係者

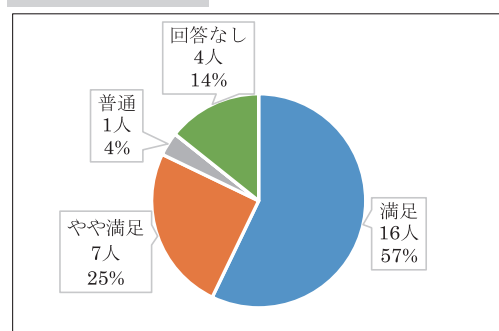


Q 参加していかがでしたか？ 5段階評価でお答えください。

医療介護関係者以外



医療介護関係者



Q よろしければ良かった点、気になった点や悪かった点をお教えてください。

医療介護関係者以外

- 初めての参加でしたが、楽しかったですし、大変勉強になりました。これから考えていかなければならない事がたくさんある事に気付きました。
- 「だらぶち」良かったです。
- 人生いきいきノートに自分の思いを記入しておきたい。ひとり暮らしの方でも、自分の思い通り家で最期を迎えられた方の具体例をお聞きでき少し安心できた。様々な体制ができていることが分かったことも良かった。
- 前田さんの話は、具体的によく理解できた。
- これからの生活について参考になる事が多かった。認知症になる前に人生いきいきノートに記入しておきたい。
- 前田さんの話が参考になった。認知症になると何も依頼出来ないことをあらためて知る。
- シンポジウムで各立場の方々のお話しもしっかりした内容でした。
- いろんな人の助けがあり良かったです。1日1日を大切に生きていきたいです。
- 身近なテーマなので関心が高かった。
- 少しでも行政等に世話にならないよう、日々を大切に自分のできることをしっかり行い楽しい日々を実践する。

- 今後、参考になる内容だったと思います。また機会があれば出席したいと思います。
- 難しい言葉等があり、理解できないところがありましたが、またやってほしいです。
- 夜中に1人でなくなるのはどうかなあとと思います。そこまで面倒みられないですね。
- コトは悪くないけど、やりすぎでしらける。
- せっかくの寸劇で始めの方音声が小さくわからない。せめて役柄がわかるよう胸に大きな名札が下がっていたら、かなり理解の助けになったのでは？後半は名札付きの出演でよくわかりました。
- 前田さんのレクチャーは、ノートがなかなかとれなかったのでパワーポイントのコピーが欲しかったです。同じようにシンポジウムでもパワーポイントを使われるのだったら、その資料が欲しかったです。
- 行政書士のレクチャーの時間が、もう少しあれば良いと思った。
- 金銭的な話が出なかったことが少し不満。経済的に余裕がないので。チラシにふれあい福祉センターの電話番号を書き入れてほしかった。場所を知らない人もいらっしやると思います。私は知りませんでした。
- 冷房が強いです。

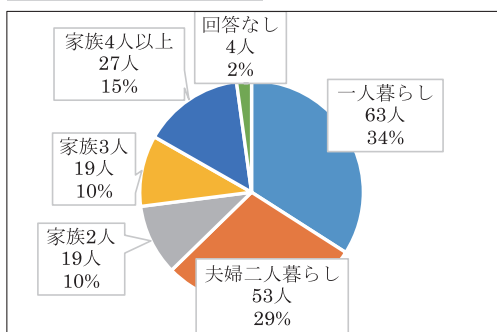
医療介護関係者

- 皆様の演技がとても上手で感動しました。
- 10年位前に在宅医療で姑さんを見送った経験があり、寸劇を観てあらためて思いました。わかりやすかったです。
- シンポジウムでの各職種からの話が聞けて良かった。どんな死に方をしたいか考えておくことが大事だと思った。
- 医療面だけでなく、生活のあらゆる面について教えていただき参考になりました。
- 実際の医師の意見や、診療時以外の姿を見ることができた。取り組みが知れた。

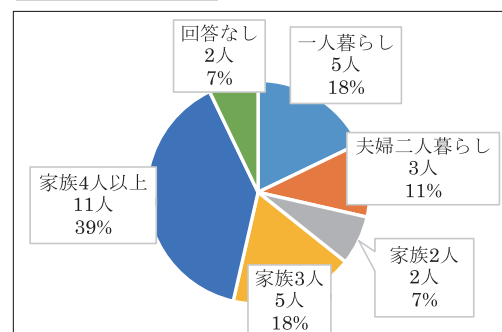
- 一部セリフが聞き取れないと会場の意見がありました。
- 寸劇は面白かった。炭坑節は長いかと…。行政書士の方のお話しは、宣伝が入るので、ちょっと…と思った。
- 寸劇は前置きとしての意味付けとしては目的が幅広く、取り扱いにくかったと思いますが、必要な時にどのような人が事前に相談すればよいのかなど、しぼりきれてない気がしました。

Q 現在の生活状況を教えてください。

医療介護関係者以外

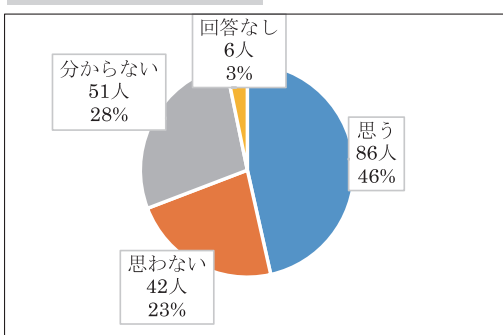


医療介護関係者

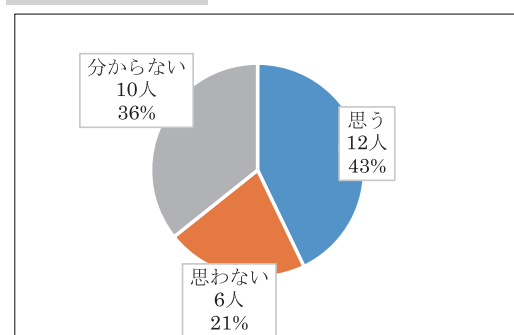


Q もし自身が一人暮らしになった場合に最期まで自宅で過ごしたいと思いますか？

医療介護関係者以外

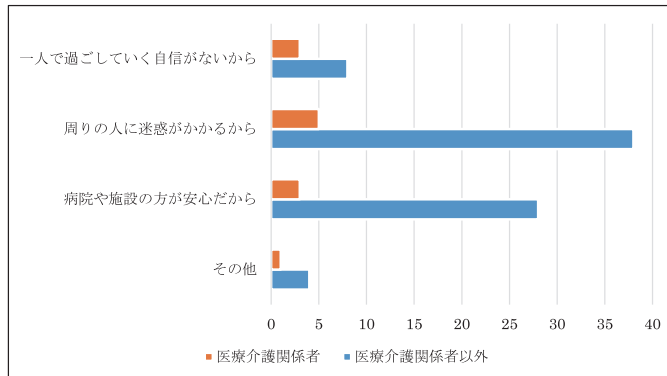


医療介護関係者

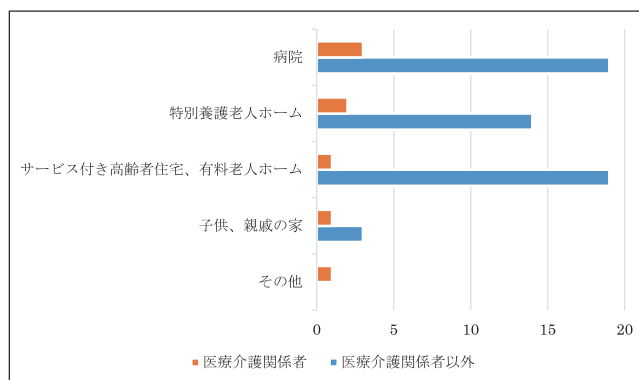


Q 「思わない」と答えられた方にお伺いします。

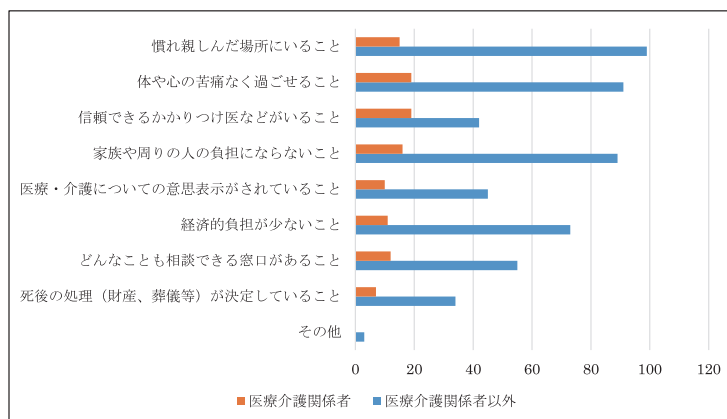
① その理由を教えてください。(複数回答)



② どこで過ごしたいと思っていますか？(複数回答)

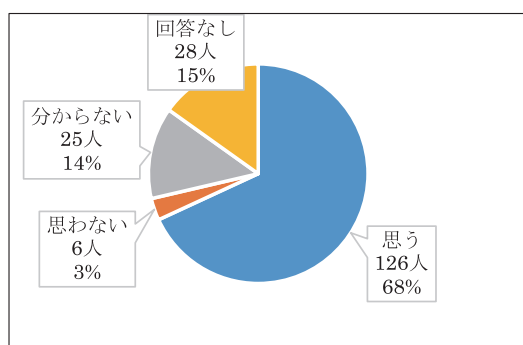


Q 自宅で最期を迎えるために重要だと思うことは何ですか？(複数回答)

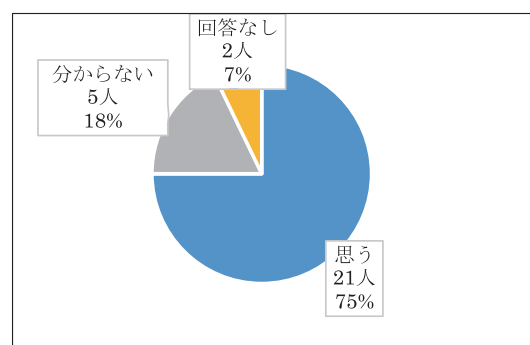


Q 高岡市が作成した「人生いきいきノート」を書いてみようと思いますか？

医療介護関係者以外



医療介護関係者



Q 第6回のシンポジウムで取り上げてもらいたいことがありましたらお書きください。

医療介護関係者以外

- 具体的に死に向かう人の例を発表してもらいたかった。特に心理的变化を知りたい（死の恐怖に対する事）。人によって興味の点が異なっています。ハッキリ言って健康な人と死に向かう人では現実感は違うと思う。
- 在宅医療に関して小さいことでも安心して色々聴きたいことを聴かせてもらえる場を教えてください（包括センター、福祉センター以外で）。
- 個人相談等の機会があれば尚良い。
- 在宅医療システムの具体的な説明と利用の手続き等。
- 在宅看護についてもっと知りたい。
- 一人暮らしは、いつどうなるかわからないので、近所に連絡できる人、安心して頼れる人が一番大切だと思うので、その点を取り入れたもの、アドバイスなどを含めたテーマを少し取り入れてほしい。
- 老人福祉施設の利用法、選び方、利用条件、費用等。延命治療と安楽死制度について。
- 成年後見制度について詳しく知りたい。
- ホスピスについて。緩和ケアでは安心して最期を迎えられない。おひとり様が認知症になったら。
- 延命措置を取らない際の痛みへの措置について。
- 認知症に関する法律、なる前にやっておく事。
- 生前整理の仕方について。

医療介護関係者

- 大事な人を亡くした時の心が辛い。悲しい時の支え、どうしたら、心が軽くなるか。ペットロスも。

Q その他、在宅での看取りや在宅医療についてご意見がありましたら、ご自由にお書きください。

医療介護関係者以外

- 寸劇であったように、十分な在宅医療等が受けられるか、出来るか不安です。
- おひとり様は、不安感も強いが、相談できる相手も少なく、いても逆に心配や迷惑をかけたくないと思うため、悩みや辛さを表に出せない場合も多いと思う。独居でなくても認知症の介護や対応には、家族が働けなくなったり、経済的にも共倒れになる可能性も高い。知人がいない人へのサポートは必要だし、周知も強化して活用しやすい環境を提供してほしい。いきいきノートや安心ガイドは今回初めて手にした。
- 一人で不安な時間を乗り越えることができるか…。
- 現在一人暮らしで子供が遠方に住んでおり、不安がありますが頑張りたいと思います。訪問医療のことについて、もっと知りたいと思います。というより、しっかり心を決めたいと思う。
- 町内全体では無理かと思うので、町内の班毎に連絡ノートなどを記入して、順番に申し送ることがいいと思います。特に班長になったときに前班長からの連絡を十分に聞く事。次の班長に引き継ぐ時にも追加事項などを申し送ることも大切かと思えます。
- 医療、介護の意思表示について、遠方の子供と只今検討中で、墓じまいの件等話し合っています。以前からエンディングノートについては話し合いながら作成中。
- 倒れた場合、どの時点で介護、在宅医療を頼れば…。自分の家で静かに死ねれば最高の幸せと思っています。
- 在宅医療について勉強したい。多くの人たちに関わるようになるが…うまく行くのでしょうか？
- 高岡市の在宅医療は現在どこまで進んでいるのでしょうか？あと数年すると団塊世代が後期高齢者となり対象となる方々が多くなることから考えると心配です。
- 開業医ならどこでも在宅をされていますか？こちらから頼まなくてはなりませんか？
- 最期をサービス付き高齢者住宅や有料老人ホームで過ごしたいと思っても、お金がなかったら入れない。
- 年金で入れる老人ホームがないので、在宅医療は理想ですが、金銭的にどんなものなのでしょうか？
- 身近で終末期を迎えた人にヘルパーがついていましたが、利用者の死後、ヘルパーは利用者と事実婚であったと主張し、預かっていた通帳と印鑑を一時返却しませんでした。裁判所が入り、返却させましたが故人の約束であったと500万円は返却しませんでした。5か月の介護と看取りで、この金額と故人の車を取得していきましました。気が付いた遺族が取り返し通帳や印鑑は戻りました。身寄りのない人の遺産を盗むヘルパーがたくさんいるのではとつくづく思ったしだいです。

医療介護関係者

- 「なんにもなくていい」と思う意見に、その意思を書き留めることが大切と伝えました。
- だんだん老化すると思いますが、周りのいろんな人の助けを受けて、過ごしたいと思います。

高岡市医師会各種委員会委員名簿

(任期:R01.6.28～R03.6月定時総会終了)

●：担当副会長 ◎：担当理事 ○：副担当

地域保健 (病診連携・特定健診)	がん検診		乳幼児学校保健	
● 成瀬 隆倫	● 寺田 光宏		●※△ 成瀬 隆倫	
◎ 酒井 成	◎ 寺崎 禎一		◎※△ 市村 昇悦	
○ 宇野 立人	胃がん	肺がん	○※△ 宮崎あゆみ	
(厚)狩野 恵彦	○ 民野 均	○ 堀 彰宏	小児生活・乳幼児	心臓検診
炭谷 哲二	上野 一夫	池田 謙三	石多 茂	青木浩一郎
(済)南部 浩史	木谷 恆	大桑 仁	※△ 上勢敬一郎	上勢敬一郎
(市)根上 利宏	齊藤奈津子	(済)川部 秀人	※△ 荻野千鶴子	(厚)小栗 真人
林 智彦	(厚)澤崎 拓郎	久賀 秀樹	※△ 小栗 絢子	(市)辻 春江
(ふ)宮崎 幹也	(済)竹越 快	越田 英夫	※△(厚)窪田 博道	(済)中舘 照雄
吉田耕司郎	竹越 國夫	清水 邦芳	佐伯 次登	寶田 茂
(済)吉田 徹	(市)中谷 敦子	杉森 成実	舘 懌二	(9名)
(11名)	西田 泰之	宗玄 圭司	立浪 真美	
	(ふ)蓮本 祐史	(市)寺山 昇	中村 保子	
	林 智彦	(厚)堀地 悌	(市)平尾 直久	
	平野 誠	(ふ)宮崎 幹也	※ 宮腰 久嗣	
	(ふ)宮崎 幹也	(14名)	※△ 和田 直樹	
	森 保人		(15名)	
	森田 達志		※小児生活習慣病小 委員会(9名)	
	(17名)		△乳幼児保健小委員 会(8名)	

医 会	臨床検査	救急医療・ 急患医療センター	会員・従業員福祉	在宅医療支援
● 白崎 文朗	● 白崎 文朗	●※△成瀬 隆倫	● 寺田 光宏	● 成瀬 隆倫
◎ 石黒 信治	◎ 宇野 立人	◎※△泉 祥子	◎ 石黒 信治	◎ 林 智彦
○ 矢野 宏樹	○ 杉森 尚美	○※△高田 裕恭	○ 山岸 孝広	○ 宇野 立人
石多 茂	小栗 絢子	※ 佐伯 次登	東 貢	○ 山岸 孝広
小栗 絢子	齊藤奈津子	※△ 市村 昇悦	安部 英樹	井川 晃彦
笠島 學	(ふ)篠田 千恵	※ 白崎 文朗	石多 茂	酒井 成
高田 裕恭	高田 裕恭	※△ 杉森 成実	大桑 仁	白崎 文朗
谷口 滋	谷口 滋	(市)瀧 康則	(7名)	炭谷 哲二
山岸 孝広	平野 誠	(済)寺崎 禎一		宗玄 圭司
吉田耕司郎	福田 宏治	※ 林 智彦		田口 芳治
(10名)	寶田 茂	矢野 宏樹		民野 均
	(11名)	※ 山岸 孝広		平野 誠
		※ 吉田耕司郎		寶田 茂
		(厚)吉田 昌弘		蓑 毅峰
		(ふ)和田 攻		吉田耕司郎
		(15名)		(15名)
		※急患医療センター 管理運営委員会 (10名)		
		△急患医療センター 管理運営小委員会 (5名)		

学術生涯教育	産業保健・健康スポーツ	広 報	I T	勤 務 医
● 寺田 光宏	●※ 成瀬 隆倫	● 成瀬 隆倫	● 白崎 文朗	● 寺田 光宏
◎ 藪下 和久	◎※ 杉森 成実	◎ 山岸 孝広	◎ 矢野 宏樹	◎ 宮崎 幹也
○ 酒井 成	○※ 上田 芳彦	○ 宇野 立人	○ 山岸 孝広	○ 寺崎 禎一
笠島 眞	東 貢	東 貢	(厚)島 孝佑	金粕 浩一
炭谷 哲二	泉 慎一	安部 英樹	谷口 滋	黒田 昌宏
竹越 國夫	北野 隆利	金子 敏行	(済)寺崎 禎一	能澤 孝
谷口 滋	齊藤 周子	久賀 秀樹	成瀬 隆倫	松井 崇生
(済)寺崎 禎一	高田 裕恭	(ふ)篠田 千恵	林 智彦	(市)山川 義寛
長谷田祐一	坪田 聡	杉森 尚美	(市)平田 昌義	(8名)
深島 丘也	林 治朗	芹原 清志	(ふ)宮崎あゆみ	
(ふ)宮崎 幹也	山岸 孝広	林 智彦	吉江 正紀	
(11名)	(11名)	平野 貴士	(11名)	
		(12名)		
	※小委員会(3名)			

介護保険・訪問看護	医療安全・感染症対策	社会保険	総 務
●※ 成瀬 隆倫	● 白崎 文朗	● 白崎 文朗	● 成瀬 隆倫
◎※ 吉田耕司郎	◎ 高田 裕恭	◎ 寺崎 禎一	◎ 成瀬 隆倫
○※ 宇野 立人	○ 泉 祥子	五十嵐 豊	○ 泉 祥子
○※ 酒井 成	(厚)狩野 恵彦	笠島 眞	宇野 立人
○※ 杉森 成実	(ふ)篠田 千恵	北野 隆利	白崎 文朗
井川 晃彦	市村 昇悦	(5名)	寺田 光宏
石黒 信治	炭谷 哲二		吉田耕司郎
上田 芳彦	福田 宏治		(6名)
笠島 學	(済)堀 亮太		
小関 支郎	矢野 宏樹		
清水 邦芳	(市)横川 雅康		
白崎 弘恵	吉田耕司郎		
宗玄 圭司	和田 高明		
高堂 松平	(13名)		
民野 均			
※ 林 智彦			
蓑 毅峰			
矢後 知規			
(18名)			
※小委員会(6名)			

高岡市急患医療センターだより 担当理事 泉 祥子

7月の患者数の状況について

今年の7月は、例年になく中旬までは最高気温30度以上の「真夏日」は1日もなかったことなどから、熱中症等による患者数も少なく、患者数は1,936人と前年度比37人減となりました。

累計患者数については、8,507人で前年度に比べ781人の増で、診療科別の患者数では、内科は2,987人(196人増)、小児科は3,451人(400人増)、外科は2,069人(185人増)となっており、全体的に昨年度を上回って推移しております。
(文責 朴木 剛)

時間帯別受診患者数

令和元年7月(単位:人)

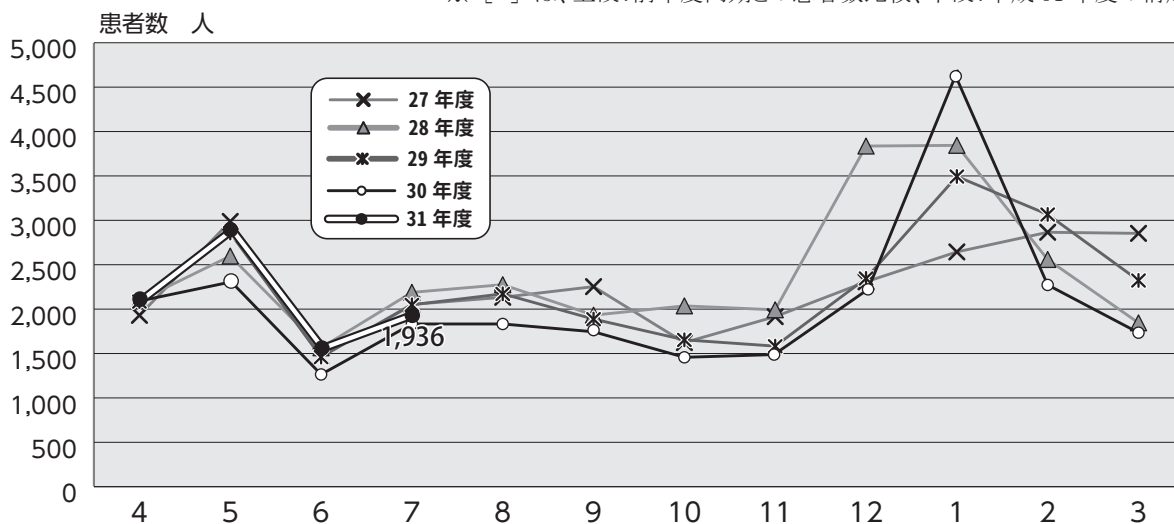
月別	時間帯別	内科			小児科			外科			合計			転送患者数			
		初診	再診	計	初診	再診	計	初診	再診	計	初診	再診	計	二次病院		他院	
														診療科	本人	救急車	
31年度 7月	午前	92	6	98	171	7	178	63	6	69	326	19	345	内	44	4	5
	午後	90	0	90	192	7	199	101	1	102	383	8	391	小	13	1	0
	夜間	353	11	364	508	31	539	289	8	297	1,150	50	1,200	外	18	1	3
	合計	535	17	552	871	45	916	453	15	468	1,859	77	1,936	合計	75	6	8
31年度 4~7月	午前	652	46	698	698	53	751	316	50	366	1,666	149	1,815	内	188	11	18
	午後	596	25	621	698	44	742	441	31	472	1,735	100	1,835	小	54	3	2
	夜間	1,609	59	1,668	1,852	106	1,958	1,187	44	1,231	4,648	209	4,857	外	63	2	55
	合計	2,857	130	2,987	3,248	203	3,451	1,944	125	2,069	8,049	458	8,507	合計	305	16	75
30年度 4~7月	午前	535	14	549	575	25	600	287	32	319	1,397	71	1,468	内	154	9	28
	午後	532	22	554	596	43	639	363	21	384	1,491	86	1,577	小	59	3	1
	夜間	1,642	46	1,688	1,710	102	1,812	1,156	25	1,181	4,508	173	4,681	外	56	1	30
	合計	2,709	82	2,791	2,881	170	3,051	1,806	78	1,884	7,396	330	7,726	合計	269	13	59

月別受診患者数の推移

(単位:人)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	年間 前年度比
27年度	1,932	2,884	1,518	2,043	2,115	2,223	1,656	1,919	2,272	2,575	2,774	2,763	26,674	0.4%
28年度	2,082	2,533	1,603	2,165	2,243	1,934	2,028	1,988	3,648	3,655	2,498	1,856	28,233	5.8%
29年度	2,072	2,766	1,509	2,039	2,150	1,894	1,684	1,620	2,307	3,340	2,955	2,286	26,622	△5.7%
30年度	2,077	2,267	1,409	1,973	1,977	1,937	1,540	1,597	2,302	4,554	2,295	1,752	25,680	△3.5%
31年度	2,110	2,905	1,556	1,936									8,507	—
内 訳	内科	759	1,151	525	552								2,987	[+196人] [35.1%]
	小児科	875	1,072	588	916								3,451	[+400人] [40.6%]
	外科	476	682	443	468								2,069	[+185人] [24.3%]

※ [] は、上段:前年度同期との患者数比較、下段:平成31年度の構成比率。



地域保健だより

担当理事 酒井 成

◇9月の地域保健・医療事業への協力について

・母子保健事業

内 容	実施日	出 向 医 師 名		
		小 児 科		整形外科
3 か月児健診	9 月 5 日 (木)	荻野千鶴子	山元 純子	坪田 聡
	9 月 19 日 (木)	新澤 隆	宮崎あゆみ	川岸 利光
1 歳 6 か月児健診	9 月 3 日 (火)	辻 春江	吉田 礼子	
	9 月 10 日 (火)	西村 暢子	宮崎あゆみ	
	9 月 17 日 (火)	今村 博明	斉藤悠紀子	
3 歳児健診	9 月 4 日 (水)	市村 昇悦	仲岡佐智子	
	9 月 11 日 (水)	上勢敬一郎	新澤 隆	
	9 月 18 日 (水)	荒井 邦美	窪田 博道	
幼児保健相談	9 月 6 日 (金)	水上亜希子		

病診連携室

担当理事 酒井 成

◇オープン病床の利用率について

	4 月	5 月	6 月	7 月
高 岡 市 民 病 院	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
厚 生 連 高 岡 病 院	21.0%	27.7%	36.0%	25.8%
済 生 会 高 岡 病 院	16.1%	6.5%	16.1%	22.0%
JCHO 高岡ふしき病院	70.0%	39.0%	83.0%	45.0%

◇れんけいネット利用状況について

高 岡 市 民 病 院	4 月	5 月	6 月	7 月
カルテ参照登録患者数	9 名	6 名	12 名	17 名
予 約 患 者 数	38 名	33 名	44 名	61 名

厚 生 連 高 岡 病 院	4 月	5 月	6 月	7 月
カルテ参照登録患者数	30 名	43 名	42 名	41 名
予 約 患 者 数	105 名	103 名	114 名	131 名

済 生 会 高 岡 病 院	4 月	5 月	6 月	7 月
カルテ参照登録患者数	7 名	7 名	9 名	9 名
予 約 患 者 数	24 名	24 名	24 名	34 名



ぶらり一人旅 ―懐古の思いに導かれて北海道へ―

宇野内科医院 宇野 義 知

何かにせかされているように、どうにもならない懐古の念というべきか。しかし、そこにはすぐ近くにある無気味などはいえない、考えようによっては、招かれているような未知の世界から強力な力に引き込まれるように旅に出た。

最近の体調は決して良くない。何しろすぐ息切れがして疲れる。一寸した坂を上ると息が弾む。呼吸機能の低下が明らかだから止むを得ないと納得はしているものの、何もせずにぼんやりと過ごしていれば返って悪影響がでるのではと、都合のよいことしか考えないようにしている。

昭和36年の日本内科学会が4月1日から3日間札幌で開催された。(このことは最近内科学会に問い合わせたのだが)。

その頃の札幌は遠く、高岡から21時間位(?)をかけて行ったように思う。折角北海道まで行くのなら、この際有給休暇(当時そのような制度があったかどうか)を頂き、病院の仕事は後輩に任せ、実に11日間の旅行を楽しんだ。現在の旅行好きは当時の姿そのまま引きつづいているのだろう。

3日間の学会は真面目に出席。その後、定山溪温泉→層雲峡→網走(原生花園、天都山)→美幌峠、屈斜路湖→摩周湖川湯温泉→標茶→標津→羅臼温泉<漁船にて>知床岬→釧路→帯広(…然別湖…)襟裳岬→登別→高岡と、途方もない強行軍の旅を楽しんだ。しかし乍ら、さすがに疲れもひどく、然別湖への旅は中止した。

そのことが絶えず頭の片隅に残っていて、何かの機会があれば見に行こうとの思いが強かった。今回の然別湖訪問は最後のチャンスであろう。6月8日～11日の4日間の温泉巡りは、3月4日に腰部脊柱管狭窄症の手術を受けてのリハビリを兼ねての少々遠出ということにした。

1日目

富山空港→羽田→十勝帯広空港へ。帯広空港→帯広駅→路線バスで然別湖温泉。

帯広から然別湖までの風景は雄大そのもの。広々とした十勝平野の景色は、朝ドラ「なつぞら」の牧場原野風景を直接目にして感慨深いものがある。白樺の並木路や原生林、針葉樹林や落葉広葉樹林など、流石に北海道。

然別湖に近づくにつれ霧雨か。ガスがひどく、道路も見えづらい位になるも、標高800mの位置にある湖だ。止むを得ぬ気象の変化のせいだろう。気温もかなり下がってきているようだ。

然別湖々畔温泉ホテル「風水」は、バス停のすぐ前にあり、ホテルの部屋は湖に面してある。絶景のはずだが霧が深く、又、雲の流れも早く、すっきりした姿を見せてくれなかった。ゆったりと温泉につかる。僅かに硫化水素の匂がする。酒がうまい。



然別湖(夕方ホテルの部屋より)

2日目

6時間半の借切り観光タクシーを予約しておいた。ホテルより上士幌町、糠平湖周辺、三国峠、層雲峡銀河・流星の滝→層雲峡温泉ホテル大雪まで。

個人タクシーの運転士さんは70歳、大変人の良さそうな方で、昨晚北見から来て然別湖温泉で泊まったとのこと。北見から然別湖まで3時間位かかるとのことだった。

途中鹿追町という名称に引かれて鹿追道の駅に立ち寄って貰う。アイヌの木彫品で手頃なものがないか、又、地方特産の珍しい食べ物がないかとの思いがあったのだ。

道の駅から道路を挟んで向う側に小さな美術館があった。「神田日勝記念美術館」である。神田日勝という名前から新興宗教に関係するよう思え、収集した作品を展示しているものかと思って



神田日勝記念美術館

いたが、何と朝ドラ「なつぞら」の前半に出ていた「天陽くん」のモデルである。画家で32才で急逝した作家とのことで

驚いた。農耕馬と思われる馬を描き、その目が何とも愛らしく優しい目をしていた。

美術館の若い娘（学芸員？）と10分位話をして、色々な知識を頂いて帰った。思わぬすばらしい贈り物を頂いた感じだった。「旅は良いものだ！」

糠平湖周辺の見学。所々に昔の壊れた橋の残骸が見られた。旧国鉄土幌線のアーチ橋「タウシュベツ橋」は水



タウシュベツ川橋梁

没して見れないだろうとのことだったが、一応湖畔の展望所まで行って見ようということで、車から降りて200m位林の中を歩いた。運の良いことに湖底まで見える位貯水がなく、川原の中にアーチ橋「タウシュベツ橋」が姿を見せてくれた。ダム湖のため水位変動により水没して全く見えなくなることもあり、「幻の橋」とも言われているとのことだ。



山口峠



大函

三国峠より三国湖を眺め、大函の景観を更に層雲峡へ。車から降りて銀河の滝、流星の滝を見る。磯川のせせらぎを聞きながら樹林を散策。ゆっくり、ゆっくり、心洗われる一刻を過ごす。層雲

峡温泉「ホテル大雪」

は山の中腹にあり、ずっと下の方に温泉の街並みが見える。

夕食はバイキング、牛肉のステーキ、ズワイガニがメインで、客の多くはそれらを食べている。牛肉ステーキは肉質が硬く、噛み切れない位で食

べるのを止める。ズワイガニ…北陸の者にとって冬の食べ物だ。冷凍ガニだろう。食べる気がしない。



流星の滝



銀河の滝

3日目

ホテル大雪を出て、路線バスで上川經由旭川へ。石狩川沿いに走る景色又良し。柱状節理の石柱の壁は以前より見難くなっているようだ。樹木が繁ってきたためとのこと。旭川で十分時間があれば旭山動物園の見物を予定していたが、駅からかなり遠く時間がかかりそう。又、中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館とも考えたが、月曜日で休館日となる。止むなく駅で時間をつぶし、JR函館本線で札幌へ。札幌から定山溪温泉までは路線バスを利用する。昭和36年に定山溪温泉に来た時は電車だったように思っていたので、ホテルについて聞いた所、昭和40年代に線路が撤去され、バス運行になったとのこと。記憶が正解だったことが嬉しかった。

定山溪温泉のホテル「章月」は山の中腹に位置し、見晴らしが良い。女の娘の躰が大変よく、料理も懐石、味よし、器よし、盛り付けよし、量もよし、久し振りに満足した夕食である。料理長を呼んでお礼を言う。



定山溪（ホテル朝の部屋より）

翌朝、朝食会場へ料理長も挨拶に来てくれ、更に帰りの玄関口まで見送りに来てくれたのには驚きだった。こんなにすがすがしい気分になり、大満足の対応に感謝したことは、これ迄なかったことだ。旅の最後のしめくりに感謝、感謝。

定山溪より新千歳空港まで直通バスがあり有難い。温泉旅行も3日続くとやはり疲れる。しかし思い出に残る旅だった。

検査センターだより

担当理事 宇野 立人

今回は、現在行われている肺がん検診の喀痰細胞診検査について、医療機関からの問い合わせや問題点について述べたいと思います。

1. 医療機関からよくある質問

Q1 去年もらった蓄痰容器、使えますか？

- (A.) 容器に印字してある製造年月日から1年以内なら使用可能です。それ以前の物は、お取り換えいたします。

Q2 いつの痰をとればいいのでしょうか？

- (A.) 早朝の喀痰を採っていただくことをおすすめします。

Q3 必ず、3日間採取しないとだめですか？

- (A.) 連続3日間採取がもっとも検査としては良いが、蓄痰第1日から1週間以上経過した検体については、細胞変性が加わる可能性がありますので、3日間採取できなくても提出してください。また、容器の赤線を悠に超える検体も見受けられます、喀痰が多すぎると粘液が溶けづらくなり、良い標本ができませんので、蓄痰するときは、赤線で止めて頂くようお願いいたします。



2. 検査上の疑問点

① 容器の中のシールが外されていない容器をしばしば見ます。

容器に添付されている袋にも書いてありますが、容器に喀痰を入れる時、容器のシールを外して頂き、喀痰を入れた後、しっかり赤い蓋をして混和するようお願いいたします。赤い蓋の内側に、粘液融解剤が塗布しており、シールを外し混和することで喀痰の粘液が溶かされ均一なきれいな標本が作製できます。

**② 容器内の保存液が減っている。**

保存液をこぼされたのか？極端な検体は、半分もないことがあります。万が一、受診者の方が口に入れられても害のない保存液ですが……………？

以上、20数年、肺がん検診に携わってきた細胞検査士の疑問点と医療機関からの問い合わせの多いものでした。正確な細胞診断には、まず良い標本作製を、と言われます。先生やスタッフの皆様には、蓄痰するときの受診者の方へのアドバイスをよろしくお願いします。

(文責 松澤 正見)

訪問看護ステーションだより

担当理事 吉田耕司郎

Eさんは80歳代前半の女性。1人暮らしです。

要介護1、脳梗塞と認知症で、時々意識消失があります。

10年以上前、Eさんの旦那さんの訪問看護に行っていました。旦那さんの病状が急激に悪化し、短期間の訪問の後、入院となり永眠されました。その頃、Eさんは、穏やかでやさしい介護者さんでした。

Eさんは、3年前頃から物忘れや判断力の低下が始まりました。今年の春、デイサービスで意識消失があり、脳梗塞と診断され入院しました。幸い目立った麻痺はなく、2週間で退院できたようです。

退院後、心身ともに不安定な状態があったようです。

息子さんは他県在住。娘さんは県内在住ですが、介護や孫の世話など、かなり多忙です。Eさんのお宅まで、車で1時間以上かかります。

物忘れがあり、いつもの内服薬が見当たらず、パニックになり、何度も通院されていたようです。

主治医の勧めもあり、今年の4月末から訪問看護を開始しました。デイサービスも週2回利用しています。

Eさんは、以前から近くの畑を借りています。毎朝、自宅からバケツで水を運んで水遣りをし、きゅうりやトマト、スイカなどの野菜を育てています。畑にいと、近所の人も声をかけてくれ、刺激になるようです。

この猛暑。エアコンはあるのですが、やはりエアコン嫌いの年齢。使っていません。汗だくです。

娘さんは、毎日電話で安否確認されます。そして何か変だと感じたら、訪問看護へ電話があります。

「電話で母が、だるいと言っている。元気なさそう。」「わかりました。訪問してきます。」と対応します。

今日は夕暮れ時に娘さんから心配の電話があり、訪問すると、Eさんは思ったより元気そうです。

血圧は高め、発汗はあります。水分をとってもらい、エアコンをつけます。

「ごめんね、大した事ないのにねえ。心配ばかりかけて。いつまでここで暮らせるか…、周りの人が言うように、私が施設に入ったら、皆が安心するだろうね。でも、ここにいと、野菜作ったり、料理したり、鉢の手入れをしたり、やること一杯あるのよ。」とEさん。

その声を聞いていたのか、インコのピーちゃんが、鳥かごから甲高い声を発します。

「おはよ おとうさん ピーちゃん えさだよ 待たれ 待たれ。」とびつくりするほど上手に喋ります。

毎朝起きたら、仏壇の旦那さんの写真に挨拶して、ピーちゃんにえさと水をあげているそうです。

「あちゃあ、いつもの独り言 ばればれやねえ。」とEさんは笑います。仏壇には百日草のピンクの花がかざってあります。そういえば、玄関先の鉢に何輪か咲いていました。

「熱中症が心配。エアコン使ったほうが、ピーちゃんも喜ぶと思うよ。そうだ、ピーちゃんに『エアコンつけてね』って言葉覚えてもらおうかなあ。」「そう？扇風機なら出してるよ。大昔のけどちゃんと使えるよ。毎年、分解してお手入れして片付けてるよ。」と、誇らしそうな表情。「でも、今はこの暑さ、エアコンも使って頂戴ね!!」このやり取りの繰り返しです。しばらく話していると、血圧も落ち着いてきました。

現在、Eさんは短期記憶障害があり、たまに日付けがわからなくなり、薬を重複して飲んでしまいます。

今後の生活の場について、ケアマネや主治医、娘さんと検討中です。娘さんは、自分が暮らしている地域の高齢者住宅や施設を見学しているようです。ただ、そこに入居したら、現在の環境と全く違うので、Eさんの活動性が低下しないか心配しています。

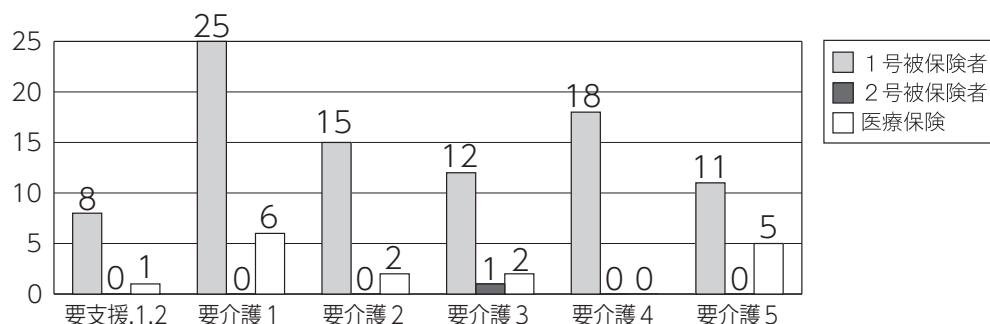
Eさんは「周りには心配しすぎ。自分の好きなところで、好きなことをして死にたい。それでいいじゃない。でも子供達に迷惑かけるなら辛い。忙しいし遠いのに、毎週のように来てくれる。本当に心が痛い。私が

この家を捨てて、何とか住宅とかホームに入ったほうがいいのかねえ。」と。切ないですね。

Eさんは、夜、眠れているのでしょうか。毎朝、仏壇に向かって旦那さんと何を話しているのでしょうか。インコのピーちゃんは彼女の独り言を聞いてあげているのでしょうか。

私達は、いつも一緒にいて、話を聞いてあげるインコにはなれませんが、身体や心がつらくなった時、ちゃんと丸ごとわかってあげられる存在でありたいと思っています。(文責 野田 美加)

●7月の実績（令和元年7月1日～31日）



	介護保険対象者		医療保険対象者
	65歳以上	40～64歳	
男 性	3 9 名	0 名	1 1 名
女 性	5 4 名	1 名	1 5 名
合 計	9 3 名	1 名	2 6 名

訪問回数
 介護 5 3 7 回
 医療 2 2 9 回
 合計 7 6 6 回

合計 120名
 重複 1名

市医のあゆみ

- | | |
|---------------------------|-----------------------|
| 7月16日 公的病院との連絡協議会 | 理事会 |
| 胃がん内視鏡検診読影会 | 28日 市民公開シンポジウム |
| 17日 高岡市民病院・医師会合同症例カンファレンス | 内科医会総会 |
| 肺がん検診読影会 | 30日 新旧役員引継ぎ会 |
| 在宅医療連携委員会 | 胃がん内視鏡検診読影会 |
| 18日 救急医療・急患医療センター委員会 | 31日 肺がん検診読影会 |
| 19日 定例会 | 8月2日 急患医療センター管理運営小委員会 |
| 21日 高岡医師グリーン会 | 4日 富山県医師会災害医療研修 |
| 22日 高岡地域産業保健センター運営協議会 | 6日 胃がん内視鏡検診読影会 |
| 介護保険主治医研修会三市打合せ会 | 7日 肺がん検診読影会 |
| 23日 フィルムカンファレンス | 10日 診療報酬明細書受付締切 |
| がん検診委員会 | 13日 胃がん内視鏡検診読影会 |
| 胃がん内視鏡検診読影会 | 14日 肺がん検診読影会 |
| 24日 肺がん検診読影会 | |

いししん 医療事業応援 ファンド



概要は次のとおりです。ご希望の先生はお気軽にお電話でお申し込みください。
直ちに必要書類をお送りいたします。

利用限度額	100万円以上2億円以下 (但し、借入限度額は開業医 3億5,000万円、勤務医2億円)	
金利・期間	当初5年間 0.50% 固定 6年目以降変動金利(基準金利連動)	ご融資期間 25年以内(1年据置可)
お使いいただける方	開業医及び新規開業予定の勤務医 医療法人、社会福祉法人、介護保険法に規定する事業を営む法人	
お使いみち	地域医療・福祉に係る設備資金、新規開業資金(運転資金を含む)	
担保		最大3,000万円まで無担保扱いが可能です。3,000万円を超える場合は不動産等の担保が必要となります。
保証人	個人の場合	原則不要です
	法人の場合	原則代表者1名が必要です
必要書類	個人の場合	確定申告書の写し2期分 ご購入予定の設備の契約書または見積書 開業計画書等
	法人の場合	法人の決算書の写し一式2期分 ご購入予定の設備の契約書または見積書

お気軽にご照会ください。お待ちしております。

さわやか医信 みんなのきずな

富山県医師信用組合

<http://www.toyamadcu.co.jp/>

〒939-8222 富山県富山市蜷川336番地
TEL 076-429-6272 FAX 076-429-6467

9月の予定表



日	予定事項	時刻	場所
2日(月)	急患医療センター管理運営小委員会	19:30	急患医療センター
3日(火)	在宅医療談話会／ドクターネットかたかご会 胃がん内視鏡検診読影会	19:30 19:30	当会 当会
4日(水)	肺がん検診読影会 救急医療市民フォーラム打ち合わせ会	19:30 19:30	当会 当会
6日(金)	介護保険主治医研修会	19:20	ふれあい福祉センター
7日(土)	全国医師会共同利用施設総会		三重県志摩市
8日(日)			
9日(月)	済生会高岡病院症例検討会	19:00	済生会高岡病院
10日(火)	診療報酬明細書受付締切 JCHO高岡ふしき病院症例カンファレンス 胃がん内視鏡検診読影会	10:00 19:00 19:30	当会 JCHO高岡ふしき病院 当会
11日(水)	肺がん検診読影会 呉西消化器疾患談話会	19:30 19:30	当会 当会
13日(金)	理事会	19:30	当会
14日(土)	救急医療市民フォーラム	14:00	ふれあい福祉センター
15日(日)	高岡医師グリーン会	7:58	高岡カントリー倶楽部
15日(日)	役員旅行		
16日(月)			
17日(火)	胃がん内視鏡検診読影会	19:30	当会
18日(水)	訪問看護ステーション事例検討会 高岡市民病院・医師会合同症例カンファレンス 肺がん検診読影会	13:30 19:00 19:30	地場産業センター 高岡市民病院 当会
19日(木)	医療従事者研修懇親会	19:00	ホテルニューオータニ高岡
24日(火)	フィルムカンファレンス がん検診委員会 胃がん内視鏡検診読影会	19:00 19:30 19:30	当会 当会 当会
25日(水)	肺がん検診読影会 理事会	19:30 19:30	当会 当会
27日(金)	定例会	19:30	当会

発行所 高岡市医師会
〒931-0011 高岡市下関町四番五十六号
電話 (0766) 2517060

発行人 高岡市医師会会長 藤田 一

印刷所 有限会社 米島印刷

編集後記

私のスマホに、Google 翻訳というアプリが以前から入っている。数年前に試してみてあまり実用的では無かったので、それ以来使ってなかった。先日、出入りの営業マンに、他院がポケット翻訳機を導入し、外国人と話すのに役立てていると聞いた。Google 翻訳も今なら大分マシになってるのではないかと思います。試しに診察に来たブラジル人に使ってみた。ブラジル人はポルトガル語なので、日本語とポルトガル語に設定して使ってみた。音声入力に失敗することはあるものの、長い会話で無ければ十分に実用レベルであることが分かった。医学用語もほぼ正確に変換されたのには大変驚かされた。無料アプリなので、外国人とのコミュニケーションに苦手意識を持つて方には、是非使ってみることをお勧めしたい。(S)



高岡市医師会

ホームページアドレス <http://www.takaoka-med.org/> Eメールアドレス office@takaoka-med.org